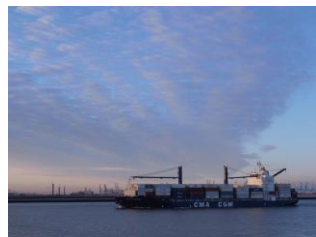
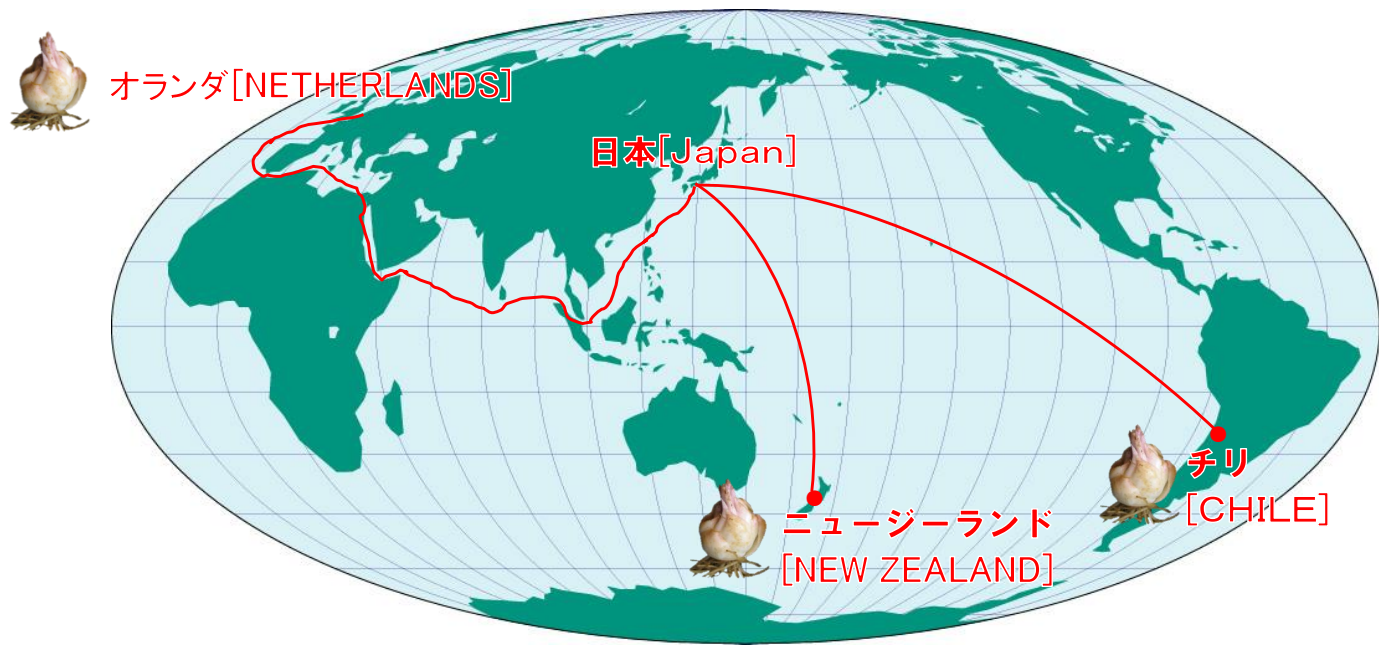


ユリが 届くまで

(球根編)



ユリの花は、球根から芽が出て花を咲かせます。
切り花用のユリの球根は、昔は日本でも多く栽培され、絹に次ぐ
ほど輸出も行っていました。しかし、現在ではその多くが海外で
生産されており、主にオランダ、チリ、ニュージーランドから輸入
されています。



特にオランダでは、品種改良や平坦な土地を利用してユリ球根の生産が各地で盛んに行われており、毎年約10億球の球根が世界に輸出されています。日本にはその内の約1億球が輸入されています。



球根の生産では、春に植え付けを行い、秋を過ぎると収穫が始まります。広大な土地を、大型機械を使って収穫していきます。



収穫した球根は、洗浄してキレイに土を洗い流し、腐敗を防ぐために消毒した後、サイズごとに分けられて箱詰めされます。こうした工程の多くは自動化されており、まるで球根工場のようなです。



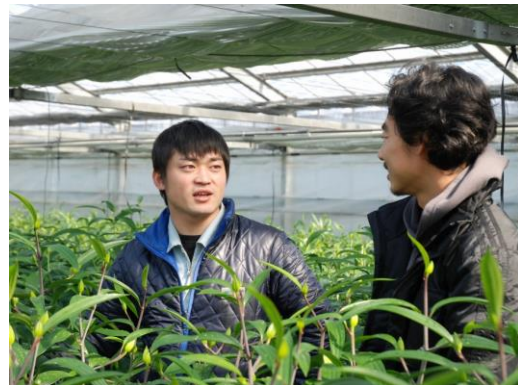
箱詰めされた球根は冷蔵処理を行い、冷凍しながら日本に向けて輸出され、約2カ月の船旅の後、当社の冷凍庫に到着します。



当社に届いた球根は、冷凍庫内で保管されます。球根は温度に敏感なため、冷凍管理には細心の注意が必要になります。当社の冷凍庫はユリ球根の保管専用に設計されています。



ユリの栽培は日本各地でおこなわれており、ユリ農家さんの栽培予定に合わせて球根が出荷されます。農家さんが愛情こめて栽培されたユリは数ヵ月の栽培期間を経て、全国の市場や生花店に送り出され...





そして、
皆さんのところにユリの花が届きます。

色とりどりに咲くユリも、元は地味な球根から始まり、
多くの人々の手を経て、海外からやってきます。
ユリを楽しむ時に、ふとそうしたことを思い出すと
また、ユリの見方が変わってくるかもしれませんね。

